



ふれあい新聞

(20号) 平成3年10月1日 (田中野田町内会)

盛会裡に終わった第8回「夏まつり」

恒例のイベント田中野田「夏まつり」が、今年は、さる8月10日(土)に開催されました。当日は、心配していた天候も回復し、おおぜいの方の参加を得て盛会裡に終わることができました。皆さま方のご協力に厚くお礼申し上げます。なお、この「夏まつり」開催にあたっての収支の概要は、次のとおりでありました。あわせて報告いたします。(いろいろの事情で、予算を少しオーバーしましたがご了承ください。)

(町内会長)

平成3年度「夏まつり」収支概要

収 入		支 出	
寄付金 町内外有志の方の 祝儀	86,000	設営運営費 電気工事等設営費 諸会合・接待費 需要費 プログラム・うちわ 花火・賞品等 謝礼諸費	134,624
町内会負担分	261,898	音響装置その他	105,652
合 計	347,898	合 計	347,898



夏まつり婦人会「屋台」(中原弘行さん提供)

銭だいこ

佐古 尚子

私は、昨年田中野田に越して来て、夏祭りで銭太鼓をやったのは、今年で2回目です。子供会の行事で今年初めてキャンプも参加しました。楽しかったですが、やっぱり、夏祭りの銭太鼓が一番、私は大好きです。昨年は練習の時も、本番の時も銭太鼓を何べんも何べんも落としました。けれど、今年は、中学一年生の人もやってくれたから心強かったです。銭太鼓のむずかしい所は、両手いっしょに、銭太鼓を回す所です。右手がうまくいったら、左手が回すようになって落ちてしまって、思うように、いかない時があります。それが反対になったり、でも今年は、うまく出来たような気がします。今年も昨年と同じ花がさ音頭だったからかも知れません。昨年と変わっていたら、たぶん、たくさん落としてしまったかも知れないなと思いました。今年で最後だと思って思い切っていました。でも、また、来年も夏祭り銭太鼓をやりたいなと思っています。とっても楽しかったです。



子ども「銭だいこ」(中原弘行さん提供)

祭りだいこ

原 典昭

ぼくは、去年も祭りだいこをしました。今年は、練習期間が、長かったけれど、最初の練習のころは、リズム打ちができず、みんなとなかなかあいませんでした。去年やっていたので、次にどんなリズムを打つのかもだんだん思い出して来ました。しかし本番では、その前の日から、甲子園へ岡山東商の応援に行っていて、つかれていたで思いどおりにたいこを打つことができず少しミスをしました。しかし、みんなきんちょうしてたのか、少しリズム打ちの所が少しあいませんでした。けれど、他の所では、ピシッと決めていて、かっこよかったです。らいねん、祭りだいこをする人は、練習、本番でもきんちょうしないで、がんばって下さい。



生活の近代化と健康

河野整形外科院長
医学博士 河野光信

かつて三種の神器と言われた電気製品が出現した頃から、世の中は次第に便利となり、今や包丁・まな板が台所から消えている時代だ。子供はファミコン相手に遊び、老人の経験や知恵は、情報化により出番が少なくなっている。産業も農林漁業に代わりサービス業主体となっている。農業が主であった頃、稲刈りにしても汗を流し息をはずませ、そのうち動作がにぶくなったりで、仕事仲間の疲れも伝わったものだろう。そこで声をかけ合ったり一服したりがお互いの交流となった。現在、同じ部屋で仕事をしていて、相手の疲労が判るだろうか。

買い物も歩いて店に行くことは少なく、車でスーパーに出かけ、品物をかごに入れ余分な事は喋らずレジを通過する。口も手足も、動かさず便利で横着に生活できる。

安静が、昔の治療では切り札であった。結核・できもの等の感染症が病気の主役であったころ、食物は乏しく薬も高価であった。体力を保ち細菌に打ち勝つには、絶対安静が特効薬であった。のら猫も太っている現在、高血圧・胃潰瘍・腰痛等の目には見えない病気が増えている。体を動かさない障害も出現している。

筋肉は二種類ある。姿勢を保持する緊張筋と、動きを出す相性筋である。現代人は、忙しく動いてはいるが、車を乗りまわし、機械を駆使しての仕事が主で、緊張筋ばかりが使われている。二種類の筋肉がバランスよく使われないことにより疼痛が生じると指摘されてもいる。

涼しくなり屋外へ出やすくなり、運動会シーズンの秋である。便利になって余り相互の交流もなく、体も動かさずにすむ状態から脱皮して、健康をより一層確保する季節にしたい。スポーツだけでなく、自らの五感を出るだけ働かせることが、人生の質を高めることになるのではないだろうか。



「祭りだいこ」(中原弘行さん提供)